

テスト設計コンテスト OPEN クラス - アピールシート

※全体でA4縦 1 ページに収まるように記述してください。

地域名

東京

チーム ID

S270519001

チーム名(ふりがな)

ツチノコテストターズ

チーム紹介

当社は「テスコン活動」に非常に力を入れており、2024 年度にはテスコン U-30 クラスで優勝しました。また、2025 年度新卒メンバー向けには研修の一環として社内テスコンを実施し、その取り組みを JaSST Tokyo で発表しています。私たちが「ツチノコテストターズ」と名付けたのは、ツチノコの特徴やイメージが私たちの想いと重なったからです。みなさんは「ツチノコ」のことをご存じでしょうか。1 つ目の理由は、ツチノコが「未知の生物」だからです。私たちテストエンジニアも、未知の課題や現象を探求・解明し、新しいテスト技術や知見を獲得していきたいと考えています。その想いを重ね、未知の存在である「ツチノコ」をチーム名に取り入れました。そして、もう 1 つ理由があります。実はツチノコは、自身の体長を超える約 2 メートルもの高さまで跳ぶことができると言われています。みなさん、ご存じでしたか？ 私たちは、この高い跳躍力にあやかり、「さらなる高みへの挑戦」と「常にジャンプアップし続ける」という想いを込めて、「ツチノコテストターズ」と命名しました。

2025 年度の新卒メンバーは、社内テスコンへの参加を経て、U-30 クラスを飛び越え、OPEN クラスへジャンプアップしています。チームとしても、個人としても、さらに大きくジャンプアップできるよう挑戦を続けていきます。今年のテスコンも、テストエンジニアとして楽しみながら挑戦してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

コンセプト

「テスト技術をもう一段ジャンプアップする」をコンセプトに掲げています。

チーム名にも込めた「ジャンプアップ」と「未知への探求」を体現するため、若手ならではの視点でテスト設計における課題の解消を目指します。そして今回私たちは、「安全・安心を守るテスト設計」にこだわりました。顧客要求をリスク分析した結果、特に以下の 2 点が重要であると考えています。

・影響範囲を特定しビジネスユーザーの安全安心を守る！

仕様を保証するためには、変更点だけでなく、変更による影響範囲も確認する必要があります。しかし、「だんだん動物園」は複数のシステムや機能が連携して動作するため、影響範囲の特定が難しいという課題があります。そこで私たちは、影響範囲の特定方法を体系化することで、変更に伴う品質リスクの軽減を目指します。

・安全安心の定量的な指標を定義しエンドユーザーの安全安心を守る：

感染症が流行する状況下では、「だんだん動物園」のシステムによって密集を回避し、人の滞留リスクを軽減できているかを確認する必要があります。しかし、要求仕様書の確認だけでは、実際に密集回避や滞留リスクの軽減が実現できているかを十分に判断することはできません。そこで私たちは、滞留リスクが軽減できたか証明する定量的な指標を定義し、だんだん動物園のシステムが安全安心な施設であることを証明します。

工夫点

・影響範囲の特定を体系化し品質リスクの軽減

影響範囲を特定するために、要求分類や要求間の関係性分析を体系化したことが工夫点です。だんだん動物園のシステムは複雑で、機能要求間や品質リスクの依存関係が見えにくいという課題があります。この課題を解決するため、ハードウェア構成、ソフトウェア機能構成、ソフトウェア品質特性の 3 つの情報に要求をマッピングしています。その 3 つの情報を軸に要求間の関係性を分析することで、影響範囲を特定します。要求のマッピングでは、分類基準を生成 AI にインプットして分類しています。また、要求間の関係性分析には類似性分析アルゴリズムを使用しています。このような方法で影響範囲を特定できることを発表で説明します。

・定量的な指標を定義し、安全安心な施設であることを証明

定量的な指標を定義するために、安全・安心を証明するテスト手法を考案したことが工夫点です。私たちは、安全・安心とは密集を回避できている状態であり、そのためには「発券機」の操作時間を短縮することが重要だと考えています。しかし、仕様書には発券機の操作を何秒以内に完了すれば混雑を回避できるかが定義されていません。そこで、発券機前で混雑を発生させないために、発券機 1 台あたりの操作完了時間の基準を設定しました。また、お客様にとっての使いやすさに着目し、発券機操作で発生し得る困りごとをお客様自身で解決できることを評価観点として設定しました。その手法として、ISO 9241-11 を基に有効性・効率性を、ヤコブ・ニールセンの 10 原則を基にエラー復帰性を評価するユーザビリティテストを設計しました。このテスト結果が良好であれば、短時間で操作を完了できることを保証できます。つまり、混雑が発生しにくい安全・安心な施設であることをアピールしたいという顧客要求を満たせると考えています。